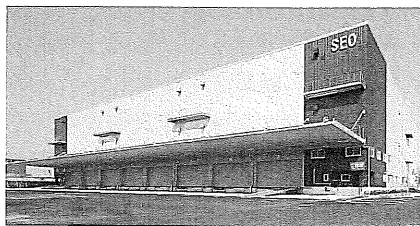
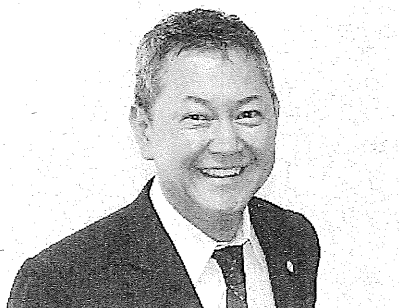


加勢、商品の受注から配送まで 一貫対応の物流センターを稼働

セオ運輸(株) (本社：兵庫県尼崎市，代表取締役社長：妹尾貴之氏) はこの4月，大阪市此花区に開設した桜島物流センターについて，他の3PLとも連携する「4PL」を提唱し急成長を遂げてきた(株)加勢 (本社：大阪府中央区，代表取締役：風間國義氏) と物流センター運営を展開することを決定，6月から本稼働させた。



加勢では「GO NEXT (go to the next stage)」(次なるステージへ向かう) というキャッチフレーズのもと，お客様の荷物を「預かる」から「売れる」(勢いをつける) という意味を含め，センターに関わる人々がここで一喜一憂できるようにとの思いを込め，本センターを



風間國義社長

「加勢 桜島 FORCE PARK」と名付けた。

「加勢 桜島 FORCE PARK」は，従来の保管型物流に加え，1坪・1棚からの保管も可能とする独自のセレクトシステムを構築し，小・中規模の通信販売事業者を誘致する。これを重点目的として通販業務支援や販売促進の支援まで可能とし，流通加工に重点を置いた総合ソリューションを提供していく。

〈センタースペック〉

住所：〒554-0032 大阪府大阪市此花区
梅町2-3-21

坪数：約6,000坪

想定出荷数量：

DC総出荷数量………12,000個/日

TCケース出荷数量…5,000個/日

*

6月24日の内覧会で取材に応じた加勢の風間社長は，「グループ会社の輸送にも注力し，関西圏にフォーカスした当日配送や集荷サービスも拡張していく」と話していた。